

第3回 那覇港港湾脱炭素化推進協議会 議事要旨

【開催日】 2024年10月22日（火）15:00～16:30

【会場】 那覇クルーズターミナル（WEB 併用）

○議決事項

- ・港湾脱炭素化推進計画の目標として、「温室効果ガス排出量」を KPI（重要達成度指標）とし、以下のとおり短期・中期・長期の段階ごとに数値目標を定める。

短期（2030年度）：約 3.7 万トン/年 （2013 年度比 26%減）

中期（2040年度）：約 2.7 万トン/年 （2013 年度比 46%減）

長期（2050年度）：実質 0 トン/年

○主な意見

- ・港湾で消費するエネルギーとしては水素のみならず太陽光や潮力なども考慮に値するものであり、方向性の一つとして検討いただきたい。
- ・脱炭素化に向けた施設や機械の導入には水素ステーションなどの環境整備が必要になる。そのため、事業主体だけでなく供給側との連携も含めて官民連携で検討を進めていくべきである。
- ・陸上電力の導入により、温室効果ガス排出量がどの程度削減されるかについて推計することで、脱炭素に向けた有力な選択肢であるかどうかの指標になると思う。
- ・那覇港の脱炭素化の目標設定において、現段階では排出量の取引について記載はないが、今年3月にカーボンオフセット燃料の使用を開始した。地球規模で見たときにカーボンニュートラルへの貢献になるのではと考えている。
- ・脱炭素に向けた公的支援の申請については、事務局が窓口になっていただきたい。また、支援情報についても適宜情報共有いただきたい。